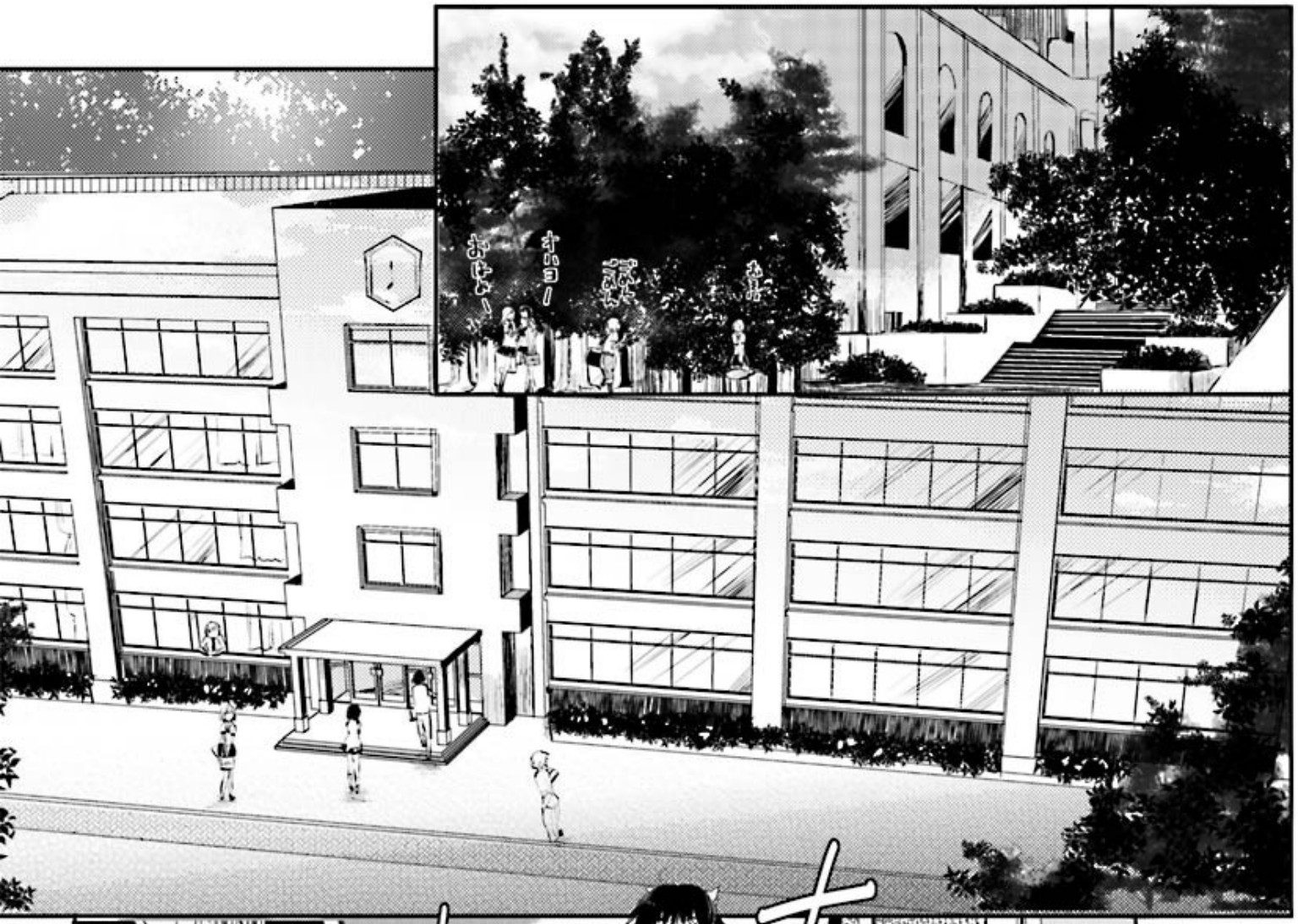
街でうわさのビッチな娘。
鈴音ゆうじ

第1話
私たち姉妹には
困った体質が
あります
…妹は むしろ
喜んでいるのかも
しれませんが…
私 姉の揚羽瑠璃(あげはるり)と
妹の七美(ななみ)は
異性を
発情させてしまう
フェロモンが体から
出てしまうのです
私は
フェロモンによって
男の人に襲われた数を
手帳に記入していますが
妹はそれを
自分の戦果として
記入しているみたいで…

そして今日も
また…
ガヤガヤ
窓…
窓さえ
開けられれば…
はぁはぁ
あのっ
窓を開けさせて
くださ…
このフェロモンさえ
吸わせなければ
こんな…！
すぅ
ふー
ふっ
きゃっ！

…う
ガタン
ガタン
…っ
やあっ
触っちゃだめ…
ぴちゅ
ぴちゃ
ぴちゃ
ダメなのにぃ…っ
飛んじゃう…っ
ぐいっ
らめぇ
はっ
はぁっ…

終点 三花学園前ー
三花学園前ー
プシュー
ううう～…
ひっく。
女性車両に乗れなくて
朝から知らない男の人に
イかされちゃうなんて
登校から
やり直したいよう…
ぽろ
キャー
2 ××××
キャー
えぇっと
手が二本で
一人だから
いち
にい
終点ですよ～
ぺろぺろ
はぁはぁ


オハヨー
おはよー

まにっ
あっ
たっ
たっ
たっ

声出せ声ー
小さいぞー
押忍!!
応援団の朝練…
ホシ…
はぁ

押忍！
はわわわ…っ
よしっ
気合入れてやるぞ
おまえら！
押忍！
帝君
かっこいいよぉ…
学園に！
風を
吹かせる男に
なれっ！

私の彼氏には
もったいな…

女王が
ノーパンだ
コラッ
集中しろ
おまえらーっっ

こらっ 揚羽さん
廊下は走らない
わーん
だだだだだ
不可抗力
ですううっっ
きゃんっ
ばしぃぁ
けっ
朝からノーパンで
誘うなんて
さすが女王だな
ひっ…
俺たちの性欲を
満たしてくれるんだ…
違うのに…！
だらしないわね
女王様
臣下もまともに
扱えないの？

妹として
恥ずかしいわ
お姉ちゃん
なっ
七美(ななみ)!
ふーっ♡
私より
フェロモンの
放出量が多いくせに
軟弱ぅ~
わ…
私だって
好きでこう
なってるんじゃ
あらあら
とんだ女王様
ですこと!
ぺらあお♡
見てごらん
なさい!
この私の手帳を
私はもう
朝からこれだけ
男を捕まえて
Hしたのよ
お姉ちゃんは
どうだっていう…
……
キャー

何よ この数 おかしいでしょ
返してよぉ
で…電車 寝坊して 普通の車両に 乗っちゃって…
その手が あったか！

ヒョイ
んぁっ
ガラッ
そこら辺に しとけ七美
あーっ
はっ
あれ？ 俺は何を…

立てるか？
うん…
二人っきりの 姉妹なんだから 仲良くしろよ
ほら手帳
あっ ありがと…

えっと
じゃあ…その…
教室に行くか…
ポワ
ポワ
もじ
もじ
そうだね…
おまえも教室帰れ
学年違うんだから
階段降りてる間に
授業が始まっちまうぞ
はーい
帝「おにいちゃん」〜
ちょっ

あっ
保健室の
方が
いいのか？
はっ
いやいや
大丈夫
だよ——っ

小さい頃から一緒だからか
帝君には効かないんだよね
フェロモン…
ぴきぴき
幼なじみとはいえ
今は付き合ってるんだし
帝君になら
襲われてもいいのにな…
なんて…
キャーッ
ばか
ばか
!?

うーん…
面白くないなあ…
おっ 揚羽(あげは)妹 早く教室入れ
ねえ先生っ 今日はもう自習にしません？
ぽぁ。
は？ 一体 何を言って…
教室は暑くてぇ…
ぷぁっ
む…
んーそれじゃあ涼しい所にいくかぁ
はーいっ
ぽわ
ぽわ

悪いな
瑠璃
練習が終わるまで
待ってもらって
ガタ
ううん
下校は
人が多い時間
すぎた方がいいから

あっあの…帝君
なんか草がいっぱい…
ああ
草むらで
コケちまって…
ちょっと待って
チョーカーの
間に挟まってる
ぐいぐい
ぐえっ
おっおい
あんま無理に
引っ張るなって…
ぽっ

ぐらっ
う…
あ……
みっ 帝君(みかど)
どうしたの!?
がしっ
きゃあっ
いたた…

帝君っ？
ちょっ…
急に一体
どうしちゃったの!?
まさか突然
フェロモンが
効くように…？
ふさっ
ふさっ？
ぱたぱた

んんっ!?
一体何が
どうなって…
んんっ
んっ♥
ずるっ
ねえ待って
み…
みかどく…
んっ
ドッ
ドッ
何で
帝(みかど)お兄ちゃんが
お姉ちゃんと…

だめえっ！
どうしよう
私 まだ
心の準備が…
お願いだから
帝(みかど)く…
そこは…
んくっ
やあっ
あっ
ふあっ

ぽか
はわっ
わわわ
んは…
はあ…
ねえ
人来ちゃうよお…
はー
はあ…
これが帝君(みかど)との記念すべき
んんっ
ふっ
初めての…
んんう♥

入れただけでイっちゃう…
はあ
はっあ
はいって♥
こんな状況なのに
動いちゃっだめえ
まんっ♥
あっはぁ

ビクビク
ビクンビクン♡
ッああ…！
ひくんっ♡
ひくんっ♡
はぁ、あん♡
きゅん
んやぁ、あっあっ
はる

こんな最低なこと
私…
嫌じゃないよ
わかってるんだ
ひどいこと
してるって
でも体が
止まらなくて…
だめ
帝く…
私いま
キツくて
ひあっ
うあっ
ひゃぶっ
パパパ

嫌じゃないから
ちゅ…
ちゅ…っ
ぷちゃ
続けて？
瑠璃（るり）…
ぷる
ぷる
ぬちっ
ぬちっ
ぬっ
ぬっ♥

帝君(みかど)
私また
いくっ
イッちゃ…
はぁ
はぁ
はぁ
ぎゅ
…っ
うぅ
っっ……
ぽ

わ
わ…？

ギャワワワン
（俺は一体どうして）
ギャワワワワン
（こんな姿に）
おっ
あぁっ
かわいい!!
落ち着いて
帝君!?

落ち着いた？
あ――…
なんと
謝ればいいか…
ニぱぁ

はっ
このチョーカー
小さい頃から絶対に
外すなって言われてたけど
帝君が
落ち込んでる…！
まさか
あんなことに
なるとは…

でで
でも これからは
注意できるし
特殊なのが
私だけじゃなくて
うれしいよ！
そ そうか…
結果オーライ
前向きだなぁ

でも何で
急に外れたんだ？
かわいかったよ わんわん
わんわん…

いつも無理矢理
やられた時は
×マークだけど…
今日は彼氏との
初Hだからハートで
いいよね…？
ふーん…
チョーカーが
原因なのかぁ！

面白いこと
考えちゃった～
ふふっ☆

To be continued...

comic
キャップ

第2話

はーっ
はーっ
ぶわっ
もん
もん
は……っ
はあっ…
んあっ
ぱちゅっ
ひゃっは
あぁっ
あっはぁ♥
はぁっ
はぁっ
はぁっ
はぁっ

っあ
そこおっ
いいっ
からあ…っ
もっと…
きゅ
奥まで
出して…っ
はぁ
あぁ

きゃんっ
はー…
はーっ…
…あなた
一番最初に
やったでしょ？
やっぱり
体育会系な
部活なだけに
体力あるわね
ふふ
もっといろいろ
教えてくれたら
もっといいこと
してあげるから
はー
もん
もん
だから
ね…？
すす
ガチャ

お兄さんたち応援団の人？
そうだけど何か用かい？
あとはもう一緒に楽しみながらで構わないんで
用事は用事なんですけどお
あっコラ勝手に…
……？
…ドア閉めたほうがいいと思いますよお
私のフェロモン吸うと理性さんとさよならしちゃうから

帝部長のこと いろいろ教えてくれません？
きっ
今日は
暑いねえ
ムギチャージ
そ
そうか…？

帝君が私の家と部屋に来るなんて
超緊張するよぉおおぉ
ドキドキドキドキドキドキドキドキドキドキドキドキドキドキドキ

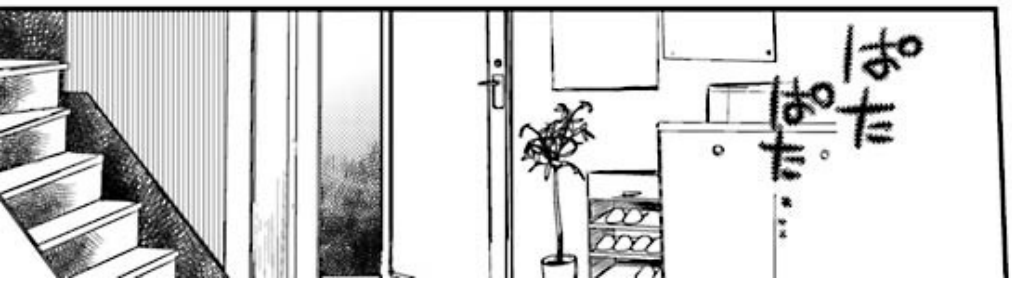
おまえってやっぱかわいいもんが好きなんだな～
ヒョイ
ガー!?
そ そ そ そ
そこはベッドじゃないですか――っっ

そっ そっか
やっぱりデートってそういうことするのかな…
私たちもう初めてってわけでもないしそうなるよねでもそうなると…

私 替えのシーツとか用意してくる!
えっ!?
あ?
はい…
ばたん

……

俺ってもしかして獣くさい?


ぱた
ぱた

あれっ
七美いつ帰ったの
さっきー
帝お兄ちゃん
来てるんでしょ？
お菓子買ってきたよ
きゃ――っ
ありがとう～！

ねえ
お姉ちゃん
今日ってなんか
手帳の印
少なくない？

今日は帝君が
一緒だったから
帰りは一回も
襲われなかったの！
すごいんだから！

フェロモンに
釣られた人を
右から左に
ばったん
ばったん
むしゃ
むしゃ
ふーん

ばったん

すぅ。。。
何でシーツ持ってんの？
応援団の人に聞いた限りだと
お姉ちゃんと帝お兄ちゃんは付き合ってて…
さらに私が遭遇した〝あの出来事〟を見る限り…
帝お兄ちゃんがチョーカーを外すと性欲が暴走する…？
チョーカーを外したらフェロモンが効くようになるのかな？
帝お兄ちゃんいらっしゃい☆
ガチャ
？
瑠璃はどうした？
お菓子買いに行ってるって～

ところで
今日は
暑いわね!?
揚羽(あげは)姉妹は
暑がりなのか?
さっきのんだぞ
ばたん
きゃんっ☆
ばしゃあぁ
ギャーン

ごめんね
お兄ちゃんっ
七美(ななみ)ドジっ娘(こ)
だから~
タオル
タオル
ぴちゃー
そういうのは
普通自分で言わない
もんだぞ
七美(ななみ)…
こんなにいっぱい
フェロモンが
出てるのに
…本当に何とも
ならないのねえ
もん
もん
?
何が?

やっぱり
このチョーカー…
ぴと
えっ
あれっ
とれな…
そんな訳ない
お姉ちゃんにできて
私にできない訳が…
もん
もん
もん
ぎゅっ
ぽろっ
私だって
私だって
帝(みかど)お兄ちゃんのこと
気持ちよくさせて
あげられるんだから…っ

取れた…？
きゃあああッ
これであの時と同じになった…？
お兄ちゃ…
どういう原理かは分からないけど…
これで私もお姉ちゃんと対等に…
……
耳――っ!?

ひうっ…
まるで帝(みかど)お兄ちゃんじゃないみたい
もん
もん
これが本当にあの…
待ってこんなの聞いてな――!…
おにいちゃ…
ひゃうっ
怖い
っは

んっ
はうっ…
は…
こんなの
最初の予定と
全然違う…
んやあ…

私が知ってる
帝お兄ちゃんは
こんな
獣みたいに
乱暴なことする
人じゃない

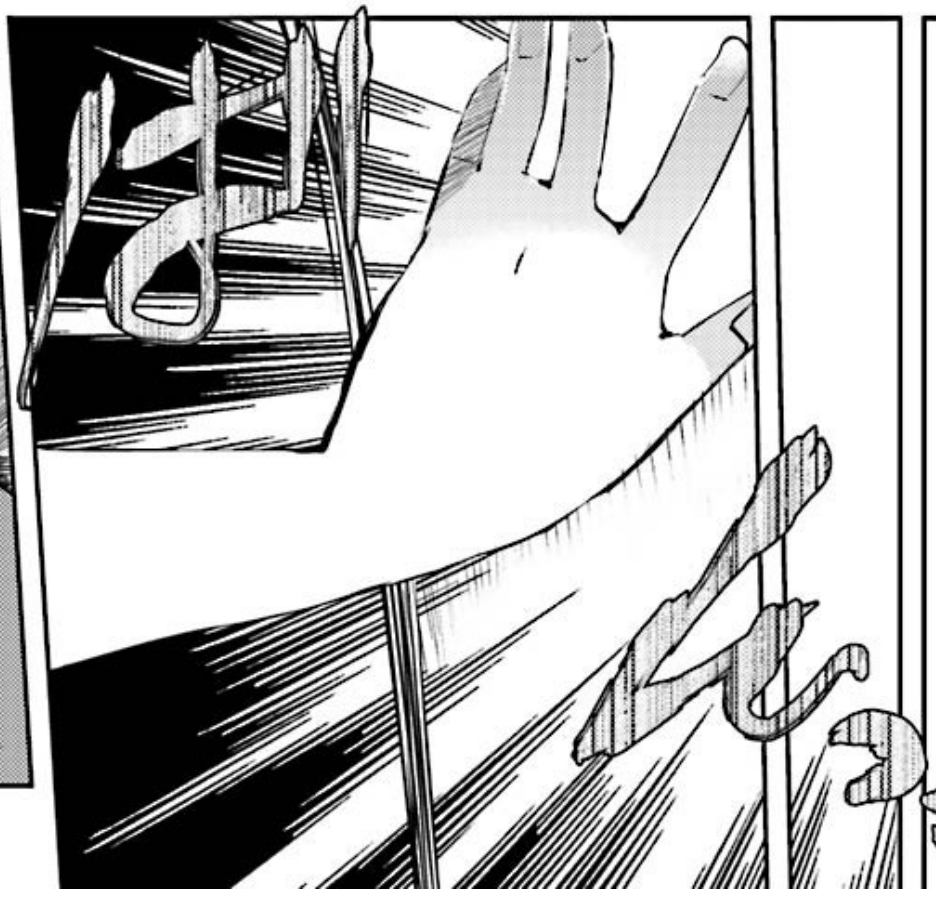
だけど怖くて
しょうがないのに
んはっあ

んうっ
はあっ
んああっ
こんなの
嫌なのに

体が勝手に感じて…
んはあっ
あぁ、あっ
ダメ…っ
んやあっ
やっ♥
ん
っはあっ
んやあぁ
ああっん♥
頭の中が気持ちいいでいっぱいになって
飛んじゃう…っ！
ぎゅっ
んにゃあ♥
はー…
はーっ…
ぺろ
くちゅ
んっ…
ピク
…ひっ

やっあ
だめえ
怖い…
じたばた
やっ
やぁ
入れちゃ…
怖いよ
帝(みかど)お兄ちゃん

お…



お姉ちゃんっ！
ぱさっ
ぱさん
よ…
よーし
帝君(みかど)おいで～
怖くないよー
キョロキョロ
ぱいーん
ぷるん
もみもみ
よーし
よし
よし！
ぱた
ぱた
ぶーん
超負けた
気分…

ちゅぷ
んっふ
んんっ
ちゅる
ちゅっ
あっ
ちょっと
待ってこれ
ちゅう
んう…
ちっ
んっ
とっさに助けに
入ったのはいいけど
このままだと
七美の前で…
ビクッ
あっ
ピク
はいって
きちゃあ
あ
あ
ぐにゅ
にゅにゅ
ひあっ
あっあ
Hする
ことになっちゃう
はあ
ぷはっ
はあっ
ビク
ちゅっ
っあ
あう…

へー…随分すんなり入ったじゃないですか
お姉様？
んはぁっ♥
七美（ななみ）っ
んはあっ
にゃな
なっ
ぬぁ
くちゅ
ぬぷっ
ぬぷっ
はぁっ
はぁっ

私と帝（みかど）お兄ちゃんがしてるの聞いてぬれちゃったの？
ちっが違…
はぁっ
はぁっ
あっ
あああっ

お姉ちゃんっていつもこういう時すごい嫌がるから
こんな顔初めて見たかも…
はっ
あっ
はあっ♥
あぁ♥あっ

ドン
気持ち良さそう
!!
やっ やだ 見ないでよぉ
はっ
あぁっは
隠さないでよ
もっとよく見せて？
んはぁ
きゃ
恋人同士のHってそんなに気持ちいいものなの？
ふあっ
やんっ
あぁ

こ!?
づぁ
もん
ビク
ちゅっ
はーっ
はぁ…
ギシ
っはっ
七美…?
七美
ぬれてる…
この子
ぬれにくいのに…
ぷっ
ぷちゅ
ちゅっ
ビクッ

きゃ
ううっ
はっ
ああ
ビク
ぴちゃ
ビクン
ぬちゅっ
んううう…!

ぷあっ
あっあっ
帝君
わらひ…っ
もうだめえ
はっ
はっ
はっ
すっ
すっ
すっ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
もん
もん
もん
ふぁ
あっん
あぁっあ
あっ
ビク
ビク
ビク

すや
すや
…ふーん
なるほど
状況は分かったわ
ねーっっ
かわいい
でしょーっ♥
きゃっ
きゃっ

それにしたって
危なっかし
すぎない？
変身条件が
チョーカーだなんて
ぐにー
でもこれ
小さい頃から今まで
ずっと取れなかったって
言ってたよ？
んー…
確かに
簡単には外れ
なかったけど…

そういえば
七美は何で帝君が家に来るの知ってたの？
だだっ
だだっ団員の人が教えてくれて
あれ？
帝君 私たちが付き合ってるのって応援団の人には言ってないハズなんだけど…
えっと男の士気が～なんだっけ？
待ってよ
だってそれじゃあ
あの人何で知ってたの…？
……

To be continued...

comic
キャップ

第3話

ゴウン
ゴウン
ゴウン
ゴウン
ゴウン
ゴウン
うん
実に興味深いね

意識がない時は
フェロモンは
出ないのかな?

その体質
どういう原理か
気になるなあ
カキ
ブゥ…
う……

ゴゴゴ…
既に自分で
体験はしてみたし
あとは観察と研究を
重ねる必要があるからね
……っ？
ここは…
もん
七美…？
もん
七美
起きて
がたがた
うーん
すちゃ
ここは
言うなれば
さながら
実験場と
いった所かな
もん
もん
もん

七美
説明してよ！
応援団の人達と
知り合いなんじゃ
なかったの!?
もん
もん
お姉ちゃん
その前に
質問があるよ
？？？
いえいえ
私達はまず
何でこんな所に？
きゃあ
キャーッ
ぱんつ返して
ください
ボクが
呼んだんですよ
話があるからお姉さんと
一緒に来るようにってね
つまり
私達ははめられたと
ヒュー
しかもこれから
ハメられてもらいます
オヤジか！

まあせいぜい
楽しんでくださいよ
きゃあっ
もんもん
嫌だ
あの…
やめ
止めてくださ…
もんもん
はぁ…
そんな事言って
こっちはもう
ヌレヌレじゃん?
こんなのは
嫌だって
もう――…
んやっ
はぁ
はぁっ
やあっ

こういう事はもう好きな人としか…
嫌なんだってばぁっ！
じょばっ
うおっ
暴れんなって
じょばっ
そんな事言ってこんなに気持ち良くなってるのに何嫌がってんのさあ
やぁ
あぁ
絶対に気持ちよくなったりしな…
くちゅ
痩せ我慢がどれだけ続くかなあ？
やぁっ
やっ
ずるずる
オーライ
オーライ

…っ！
はぁっ
嘘…
入ってきて…
あー女王さま
ちょっと
黙りましょうか？
はー…
ふー…
やあっ
抜いてよお
抜いてってば
すんなり入れといて
それはないわー
いいから
早く抜い…っ
噛まないで
下さいねえ
おおー
暖かい…
あっ
はっ
ぬっ
ぬぷっ
にちっ
ぐちっ
ぬっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷ

見事な逆効果だよお姉ちゃん…！
お 俺ちょっと変な方にドキドキしてきた…
お 俺も…
ううっ
絶対イッたりなんかしないんだからぁ…っ
ん～っ
うんっ♥
んはっ♥
あっ♥
天然め…
ぢゅぱ
ぢゅぱ
ああ良いねぇ…！良いよ…！

…キミも混ざったらどうかな？
ボクが知ってる情報じゃキミはこういう状況を楽しむ人格のハズだよ
んあぁ
あぁ
あはっ♥

悪趣味…

あぁ
あっ
ぽんっ
ぽんっ
ぽんっ
ぽちゃ
あんっ
やっ♥

だめ…
もう限界かも…
はっ…
はっ…
ズッ
ズッ
ズッ

七美(ななみ)！
おいおい
にらむなよお
楽しもうぜ…？
何で
何で私達ってこんな目に
合わないといけないんだろう
フェロモン体質
だから？
いやあっ
あんっ
もん
んあっ
あぁ、ひっ
はっ
いやあ
本来は好きな人と
したい事なハズなのに…
好きな人にだけ
効かないなんて…
はー…
はー…

…お前ら…
何やってんだよ
それともこれは
何やってんだって聞いてんだよお！
ベキ
はっ
はぁ
は…
ゴゴゴ…
好きな人に助けてもらうため？

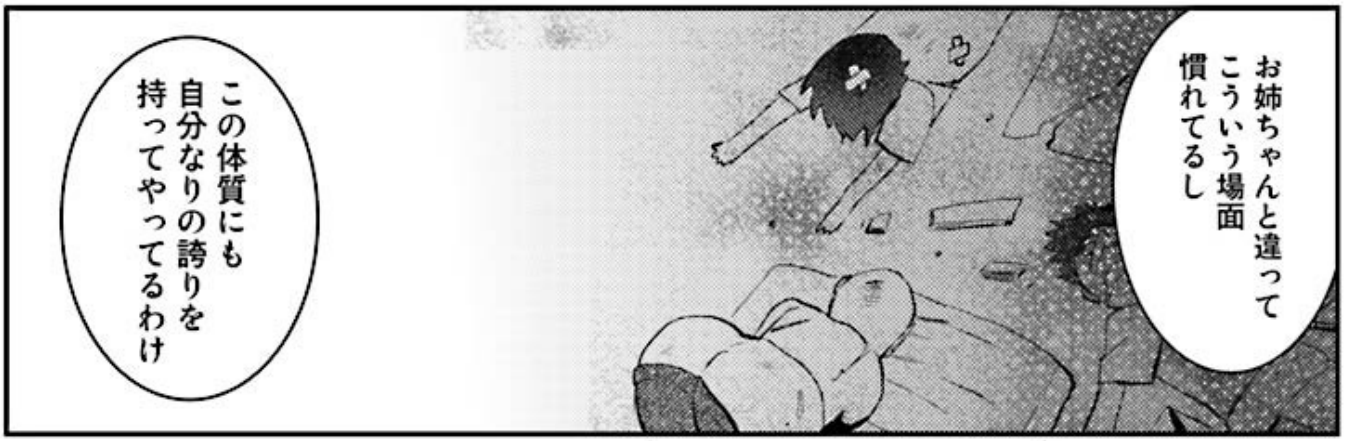
ひっ
何で団長がここに…？
ちち違うんですこれには事情が…

瑠璃悪いなあと頼むわ
はわわ
…帝君？
はわわ

ぽんっ

…こうでもしないと
落ち着けそうにないからさ
ぎゅ
!?

私さあ


お姉ちゃんと違ってこういう場面慣れてるし
この体質にも自分なりの誇りを持ってやってるわけ

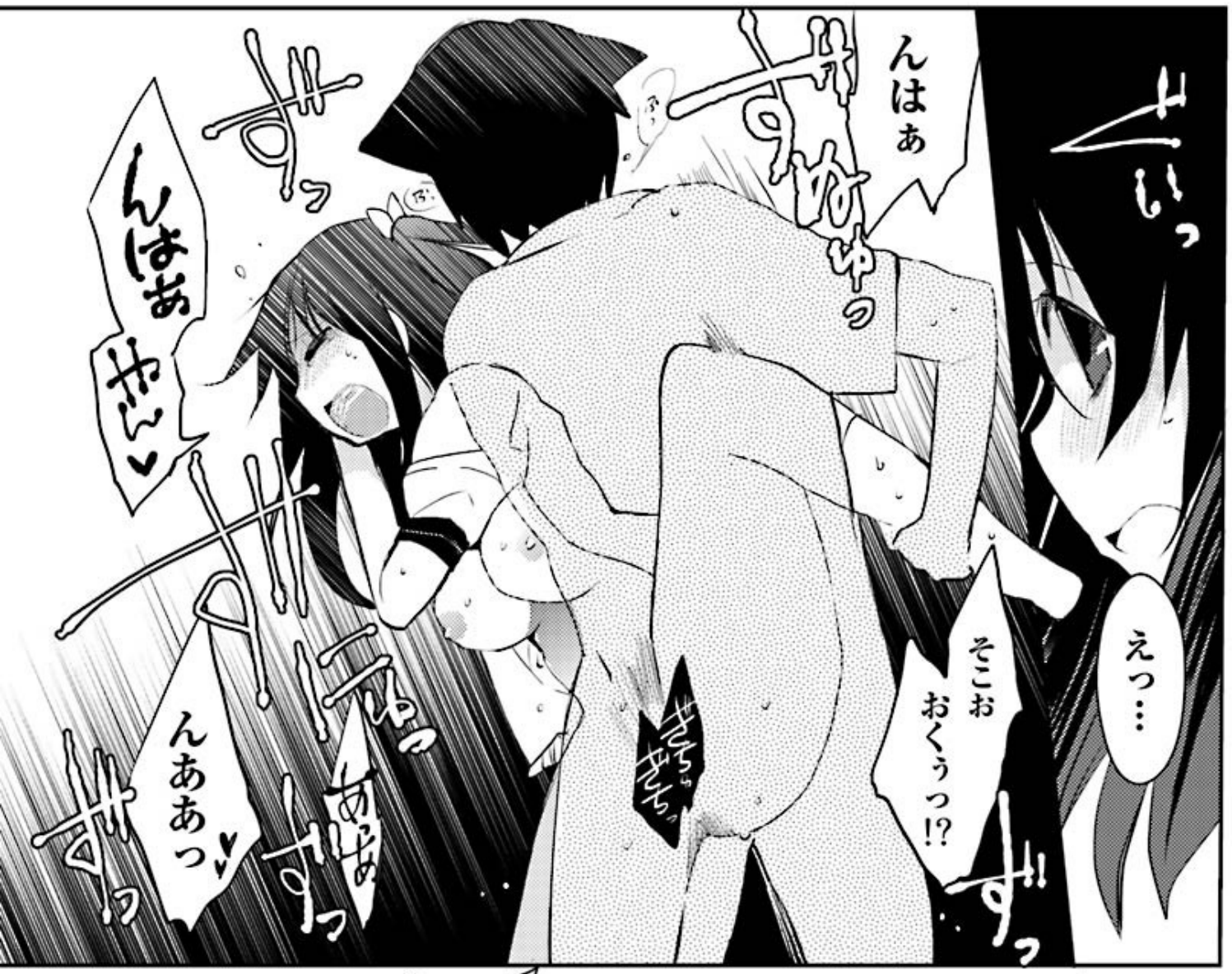
どんな男でも大抵は
携帯取り上げて
安心しちゃうのよねえ
コレで帝(みかど)にい
呼んだのよ
残念でした～
…このスマホ時代に
ポケベルなんて
時代錯誤すぎる…
というかその端末
すぐ分かるほうが
少ないんじゃないか
ボロ…
言い訳は
それで終わり？
……っ
もん
もん
貴方(あなた)あの時
がっついてた団員の
人でしょう？
あの時は
楽しかったわよ
で 私まだ
満足してないし
代わりに
遊んでくれる？

なっ
なな
正直さ
フェロモン以外で
興味持ってくれた人って
初めてかもしれなくて
ちょっと
気になってるのよね
なんて
別にお姉ちゃんに
影響されたわけじゃ
ないんだからね…？
…っあ
待っ…

ちゅる…
ちゅっ
みゅぐ
きゅ…
ふわ…っ
頭ぼーっとすゆ…
ぷ…
んっ
んぅ…
ちゅっ
ぱだだ
ちゅる
んむぅっ♥
んっ
…ごめんね
帝君(みかど)
私 助けてもらって
ばっかりで…
ん…く
ほぁ
こんなのが彼女なんて
本当はきっと嫌だよね…
私はなんて
弱くて卑怯
なんだろう…
狼になってたら
聞こえないって
分かってて言うなんて

はぁっは
ちゅう
んはぁっ
あぁ
ずるっ
はぁ
ちゅっ
んはぁっ
はぁ
ぐるっ
きゃっ
あぁっ
はぁっ
はっ
はぁ
パン
パン
あぁ
あぁ
んうぅっ
んはぁっ
ぬっ
ぬっ
ぬっ
あっ
はぁっ

帝(みかど)く…
ぽろっ
はっはぁっ
はっ
好きっ♡
好きぃっ♡
ぱちゅっ
ぱちっ
ぱちゅっ
んあぁっ
あ
ビクッ
ビクッ
ああっひ
あ——っ
はっ
ふはっ…あ
はあ…
…俺も…だから…
好きだから…

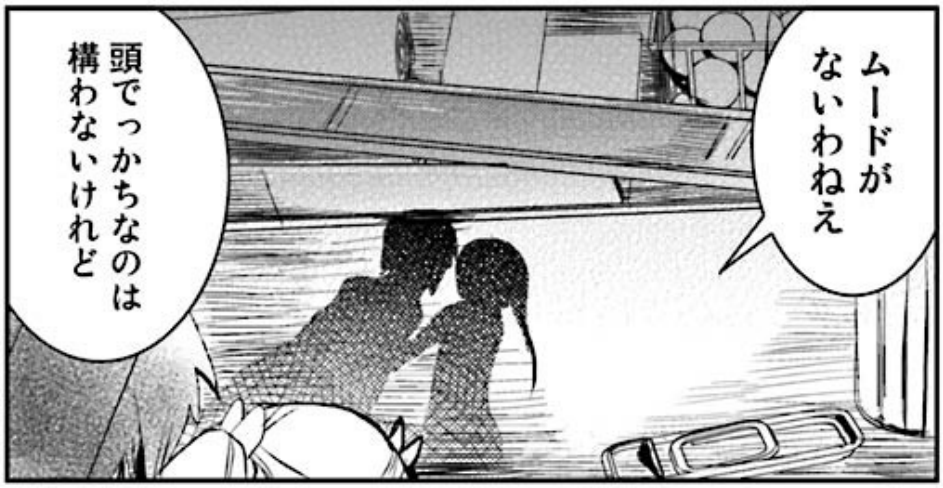

いっ
んはぁ
んはぁやん♡
んあぁっ♡
えっ…
そこお
おくうっ!?

帝(みと)くん
あはぁっ
がくがく
はっはっ♡
私もう
イッちゃ…
はっはぁ
お姉ちゃんはさ

フェロモンが私より強いくせにさあ自分から使おうとしないし
私はどうあってもただの女王の妹どまり
じゃろ？
ちゃろ？
ホントやんなっちゃう
ほっ
ほっ
……
ボクの研究が進んだらフェロモンの増大も出来るようになるかもしれないよ？
はっ
くいっ
うわっぷ
あんたどんだけタフなのよ!?
がばっ
キミは本当にワクワクさせてくれる
興味深い！
ボクに是非協力させてくれないか
はっ

…そうね
私のこと
気持ちよくさせて
くれたら
考えてあげても
いいわよ

イかせられたら
ボクの勝ちって
事でいいかな？
ちゅ


ムードが
ないわねえ
頭でっかちなのは
構わないけれど

こういうのは
もっと能動的に
するものよ
いいっ

ぬちゅ…
はぁ
…っ
うんっ
はっ
ぬりぬり…
んはっ
んにゃあっ
ああっひ
ひあ
はっ
あっ
あっあ
いまな!!
はっあ
ぱちゅっ
おっきいのっ
ぱちゅん
はっ
はっあ
前の時も
思ってたけど…
やっぱこいつ
うまい…っ
んあ
あぁあ
すっ
すっ
はっあ
はっ
はっ
メガネの癖に
いいもん
持ってるじゃ
ない…!?

んはあ
もっと
もっと動いて
さっきまでと
全然違う…
おくっまでえ
んんっく
体も頭も好きで
いっぱいに
なってて
んむうっ

気持ちよすぎて
わけわからなく
なっちゃう…!!
はあぁっ
やぁ、きちゃっ
きちゃうのぉ♥
はんっ
はっ
はぅ
きゅん♥
ぷしゃっ
はんっ
すごいっの
きゅぅぅ
きちゃぁあ
あぁっ♥♥
キーン
コーン

すみません
でした――!!

聞いたぞ
なんか変なもん
嗅がせられたせい
なんだろ?
気をつけろよ
押忍!!

…という事に
しといてあげる☆
ぷー
くすくす
ぎりっ
……くっ
しかし団長に
嫌われるよりは…

そう言えば
狼男みたいのに
襲われなかったか
ああ!
俺もそんなの
見たような…
ギギギ
ク
ク
ギ
ク

ホラホラみんな
ヘコんでないで
練習しようぜ!
今すぐしよう!
青春だ!
団長…
ボク達に気を使って…!?

はれえっ
もう練習始まってるの!?
オーエス
オーエス
せっかく早起きして差し入れ作ってきたのにい
そういや帝にいのチョーカーの秘密分かったかも
えっ？
つまんでいい…
今朝のアレも急いでて聞きそびれちゃったし…
むー
これからはちゃんと恋人としても頑張らないとね！
とりあえず帝君補給したら考えよっ
おしまい

街でうわさのビッチな娘。

著　者　　鈴音ゆうじ
©Suzune Yuuji 2013

発　行　　qap
発　売　　qap

★この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などには一切関係がありません。
本書の無断複写・複製・転載を禁じます。